

B級指導者養成講習会レポート

報告者 奥山 大輔 (清水エスパルス)

■期間

- ・ 第5コース (東海)
- ・ 前期：2017年6月19日 (月) ~ 24日 (土)
- ・ 後期：2017年10月16日 (月) ~ 21日 (土)

■場所

- ・ 御殿場時之栖

■インストラクター

- ・ 濱崎 芳己 氏 (JFAインストラクター)、池内 豊 氏 (JFAインストラクター)

■所感

○動きながらの技術

全ての実技テーマにおいて共通して必要とされていたのが動きながらの技術であった。止まってプレーするのではなく常に動きながらプレーし、動きながら観る事が要求されていた。動きながらプレーする事で、出し手と受け手のタイミングを合わせる事、相手のプレッシャーを回避しながらプレーする事が可能となる。動きながら正確な技術を発揮する事が、プレッシャーがある中でのプレーを可能にし、より高いレベルでプレーする為のキーファクターになる事を再確認した。

○フォーカスコーチング

トレーニングのテーマに対して獲得させたい技術、個人戦術を明確化する事、トレーニングでは指導するポイントを絞ってコーチングをする事が求められた。起きた現象に対してなんでもかんでも伝えるのではなく、指導するポイントを絞る事で選手にわかりやすく伝わりトレーニングの効果がより良いものになっていく事を実感できた。

○教育者であり、サッカー指導の専門家

B級指導者養成講習会に参加させていただき、様々な指導者の方と接する事ができ非常に多くの学びの場となった。多くの指導者の方と話す中で、我々指導者はサッカーを指導する環境があり、サッカーをプレーしてくれる選手がいなければ成り立たないという事を改めて感じ、サッカーの指導をする環境がある事に感謝しなければならないと感じた。サッカー指導だけでなく、選手の未来に触れている一人の大人として、自分自身の人間性の向上と学びの姿勢を忘れてはいけないという事を強く感じた。

簡単ですが以上報告させていただきます。